

古紙

分け方 汚れているものは可燃ごみへいれます

新聞紙



雑誌・雑がみ



- 無線とし、中とし、どちらも、のりやホチキスを外す必要はありません。
- 紙箱、包装紙、紙袋などで汚れているものは可燃ごみへ。



段ボール



- ガムテープや留め金は、できる限り取り除いてから出してください。

紙パック



- 酒類や一部のジュースで使われている、裏側が銀色のパックや、注ぎ口のついたパックは可燃ごみです。

※注ぎ口がついていても銀色のパックがついていないものについては、注ぎ口の部分を切り取り、古紙として出してください。

出し方



ひもで十文字にしる

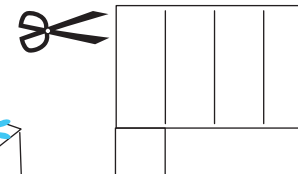
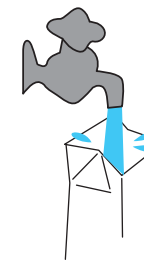


ひもで十文字にしる



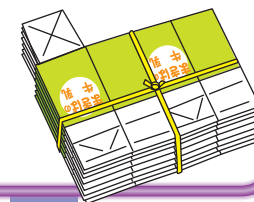
ひもで十文字にしる

①洗って ②切り開いて



③乾かし

④十文字にしる



- 決められた収集場所に当日の朝 8 時までに出してください。
- ガムテープなどではばらないでください。

※市によって収集の仕方が異なります。詳細については各市にお問い合わせください。

注意

これらのものは資源物の古紙ではありません。

- ビニールコート紙 ●紙コップなどのワックス加工品 ●写真 ●合成紙 ●防水加工紙 ●感熱紙 ●感熱発泡紙 ●裏カーボン紙 ●ノーカーボン紙 ●油紙

古紙以外のごみをまぜないでください。

- ポリ袋 ●粘着テープ類 ●ファイルの金具 ●クリップ ●フィルム類 ●ワッペン類 ●発泡スチロール ●セロファン ●プラスチック製品 ●ガラス製品 ●布製品

